



中野区立緑野中学校 学校だより

# 探求・創造・共生

令和6年11月27日(水) 発行 第8号

## 相手の立場になって物事を考える大切さ

校長 尾石 智洋

合唱コンクールが11月2日(土)に、なかのZERO 大ホールで盛大に行われました。緊張感のある中、各クラスの団結した歌声に感動しました。また、クラスごとに課題をもち練習を重ね努力をしてきた過程に大きな成果を上げることができました。そして、多くの保護者・地域の方々より大きな拍手をいただき一体感を感じることができました。ありがとうございました。

さて、東京都教育委員会では6月と11月を「ふれあい月間」としています。生徒の皆さんにも「学校生活についてのアンケート」を実施しました。特に「いじめ」に関して様々に意識して安全で安心して学校生活を送れるよう取り組んでいます。今回は、改めて先日Web朝礼でもお伝えした内容を共有させていただき、人との関わり方について意識が高まればと思います。

学校での出来事です。イメージしてみてください。ある生徒が、相手に対して冗談のつもりで言ったことが、とても相手を傷つけることになり、そのことで先生に注意を受けて、「あなたが相手の立場だったらそんなこと言われて、どんな気持ちになるか考えなさい。」、そう言われたとします。つまり「相手の立場に立って考えなさい。」、そう注意されたわけです。しかし、「あなた」がその人の立場に立って考えても、言われたことで傷つかないかもしれません。もし、そうであれば、相手の立場に立って考えようとはしたものの、相手の立場に立ちきれず、その結果、「自分なら冗談だと笑って済ませます。」などと答えてしまうかもしれません。「相手の立場になって考えなさい」とは教師のよく使う指導の言葉です。しかし、相手の立場に立つ、ということは非常に難しいことです。相手の枠組みで物事を捉えると言うことです。では、こうしたことができるようになるためには、何が必要なのか。それは多面的・多角的視点の獲得だと考えます。獲得することができれば、いじめは減っていくのだと考えられます。そのためには、身近に起こりそうなことを改めて考えることがとても大切なことだと思います。特別の教科道徳の授業や特別活動ではこれらの学びを深めていきます。さらに、生活している中で特に注意する必要があるのは、SNSなどのWeb上での安易なやり取りです。人権を侵害することの無いよう十分に利用方法を理解していく必要があります。緑野中で安全・安心して生活ができるよう、ご家庭とも連携して「相手の立場に立って考えられる」について学びを深めていきたいと思っています。

## 11月2日(土) 合唱コンクール

なかの ZERO 大ホールにて、合唱コンクールを実施しました。昨年度は感染症の影響で発表会形式での実施でしたが、今年度は全学年コンクール形式で開催し、生徒たちは練習の成果を存分に発揮することができました。



1年A組



1年B組



1年C組



1年D組



2年A組



2年B組



2年C組



2年D組



3年A組



3年B組



3年C組



3年D組

生徒から  
の声

他学年が練習する声が聞こえ、私たちが頑張らなければいけないと思った

3年生は中学校最後の合唱コンクールだから、優勝に向けて練習に積極的に取り組んでいた

どのクラスも全員で団結して合唱をしていて、上手い下手は関係なく、頑張ったことが伝わった。

歌いきってステージを降りるとき、達成感を感じた

## 11月8日(金) 子どもの意見を反映させた教育活動 ～ロンドン五輪柔道銀メダリスト 杉本 美香氏による講演～

中野区立学校では、今年度より、子どもの意見を反映させた教育活動に取り組んでいます。今年度は、生徒からの希望をもとに、生徒会執行部が調整して、ロンドン五輪柔道銀メダリストの杉本美香さんをお招きすることができ、ご講演いただきました。当日はアスリートとしての姿や果敢に挑戦する姿勢など、生きる上で大切にしてほしいこととお話しされ、生徒たちは生き生きとした表情で聞くことができました。



### 中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) のお知らせ

東京都教育委員会では、生徒の「使える英語力」の育成を推進するため、令和4年度から中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) を実施しています。今年度は、3年生が11月24日に外部会場にて受験しました(予備日12月15日)。当日は、タブレット端末等を用いて、解答音声を録音する方式で行われ、日頃の成果を発揮していました。

1・2年生は、3月に本校で実施予定です。申込みにあたり、保護者の皆様のご協力をお願いします。